

# 教育実習生を指導するうえでの注意事項

鈴木 聡

## 1. はじめに

新学年も始まり、学校生活も落ち着き始めたころに訪れる、学校行事ではないが学校行事的なものが教育実習である。教育実習生は国立大学の教育学部を除けばほとんどは自分の母校で実習をする。自分が直接指導した生徒の成長した姿を見るのはうれしくもあるが、中にはあまり成長していない者や、一体4年間何を学んできたのかを疑いたくなる者も中にはいる。そこで、本稿では、教育実習を担当する先生がたを対象にどのように実習生を育てていくべきかについて述べていくことにする。

## 2. 実習予約に来た学生に言うべきこと

教育実習は4年生の5月下旬～6月中旬をめどに実施されるが、実はその前年(3年次)に実習校に行き、教育実習の予約を行う。この時点では実習生の指導教諭は決定はされていないが、できれば教科主任は実習予約に来た学生に会って、①(志望動機も含め)将来本気で教職に就く希望があるのかどうか ②そのためには今現在どのようなことをしているのかどうか ③どのような資料を手もとにもっているのかどうか について確認し、場合によっては指導しなければならない。というのも、実習生の中には「教員免許」は大学を卒業した「付録」くらいにしか思っていない者や、他の職種に比べ長期休暇があるといった理由で教職を目ざす者が少なからず存在するからだ。はっきり言えば、そのような学生が実習に来ると、年間学習計画は狂うし、最悪実習期間中に実習生がやった内容を実習生が大学に戻ってから指導教諭が全てやり直さなくてはならないからである。そんなことが絶対に起こらないように、教科主任は実習予約にきた学生に「実習に来るにあたっての心構え」をしっかり指導しておかなくてはならない。できることならば、実習に来るまでに読んでお

かなければいけない書籍や雑誌、あるいはそろえておかなければならない資料などをリスト・アップして渡しておく必要がある。というのも、最近の学生は「教わってない」「知らない」を理由に自らの力で「文献」を探そうとしないし、探せない者が多く存在している。事実、教育実習生が実習期間中にもって来ている資料といえば、高校時代から使用していると思いき英和辞典、和英辞典、参考書、そして実習校で配布された教科書と教師用指導書(Teacher's Manual)だけである。指導書のことが出たのでついでに断っておくが、実は、私は実習生に教師用指導書を渡すのは反対である。確かに、指導書はかゆいところにまで手が届くほど素晴らしいものであり、これがあれば、初めて授業を行う者でも、一応の体裁を整えることは可能である。が、実際の教員の中にも指導書がないと何もできない教員が少なからずいることと、本気で教員になる気があるのなら、教材研究のしかたを実習期間中に本格的に学ぶ必要性があることから、決して指導書を渡してはならない。

## 3. 教育実習に来るまでに実習生に用意させておくべきもの

しかし、実習生用に「実習に来るまでに読んでおかなければいけない書籍や雑誌、あるいはそろえておかなければならない資料のリスト」を作成するといっても、その情報量の多さから何を挙げてよいかとまどう人もいるだろう。そこで、以下に私が考えるリストを参考までに挙げてみよう。

(A) 専門誌、雑誌

<中学・高校>

新英語教育 三友社

<高校>

英語教育 大修館書店

## (B) 辞典類

## &lt;英和辞典&gt;

ジーニアス英和大辞典 大修館書店  
 新英和大辞典 第6版 研究社  
 ジーニアス英和辞典 第3版 大修館書店  
 新グローバル英和辞典 第2版 三省堂書店  
 新英和中辞典 第6版 研究社  
 プロGRESSIVE英和中辞典 第4版 小学館

## &lt;和英辞典&gt;

新和英大辞典 第4版 研究社  
 プロGRESSIVE和英中辞典 第3版 小学館  
 新和英中辞典 第5版 研究社  
 現代日英表現辞典 研究社

## &lt;英英辞典&gt;

*Oxford Advanced Learners Dictionary* 第6版  
*Webster New World College Dictionary* 第4版  
*Longman Dictionary of Contemporary English*  
 第3版

## &lt;文法辞典&gt;

英文法辞典 培風館  
 コンサイス英文法辞典 三省堂  
 英文法小辞典 研究社  
 英語正用法辞典 研究社  
 新英文法用例辞典 研究社  
 英語正誤辞典 研究社  
 現代英語正誤辞典 研究社  
 オックスフォード実例現代英語用法辞典 研究社  
 詳説英文法辞典 開拓社  
 英語・英文法重要用語辞典 南雲堂フェニックス

## &lt;その他の辞典&gt;

英語ことわざ辞典 三省堂  
 固有名詞英語発音辞典 三省堂  
 英米風物資料辞典 開拓社

## &lt;事典&gt;

英語語法事典 大修館書店  
 続・英語語法事典 大修館書店  
 英語語法事典・第3集 大修館書店  
 英米語法小事典 大修館書店  
 イギリス文学小事典 北星堂書店  
 言語学・英語学小事典 北星堂書店  
 高校英語 Q&A 実用英語指導事典 教育出版

## (C) 語法関係

ダイナミック英文法 研究社  
 英語教師のための英文法再整理—7文型のすすめ  
 研究社  
 英文法がわからない 研究社  
 英語教師のための英文法 研究社  
 教壇の英文法 研究社  
 ハンディー英文法 Question Box 泰文堂  
 英文法日本人が繰り返す200の間違い ペレ出版  
 英語参考書の誤りとその原因をつく 大修館書店  
 教師のためのロイヤル英文法 旺文社

## (D) 参考書

英文法学習の基礎 研究社  
 英語教科書と文法教材研究 大修館書店  
 英語教師の文法研究 大修館書店  
 続・英語教師の文法研究 大修館書店  
 これでいいのか大学入試英語(上)(下) 大修館書店  
 改訂増補 マスター英文法 聖文社  
 徹底例解ロイヤル英文法 改訂版 旺文社  
 チャート式 基礎からの新総合英語 数研出版  
 チャート式 基礎と研究 現代英文法 数研出版  
 チャート式 ラーナーズ高校英語 数研出版  
 英文法詳解 学研  
 英文法解説 改訂3版 金子書房  
 英文法総覧 改訂版 開拓社  
 現代上級英文法 朋友出版  
*A Comprehensive Descriptive Grammar of English* 開拓社 (現代英文法総論 開拓社)  
*Essentials of English Grammar* George Allen And Unwin. (英文法エッセンシャルズ 千城出版)  
*A Communicative Grammar of English* Longman (現代英語文法—コミュニケーション編 紀伊國屋書店)  
*Principles and Practice of English Grammar* Barnes & Noble (英文法—原理と実践—篠崎書林)  
*A Handbook of English Grammar* 丸善  
 ここに挙げたものは私自身すべて購入しておくべき必要最小限のリストだと思っているが、もちろん、これ以外にも良書はたくさんあるだろう。その場合

は、諸先生がたがよいと思うものを薦めてくれてかまわない。少なくとも、必要最小限購入しておくべきリストというものの提示は必ずしておかなくてはならない。もしも、何を提示していいかわからない場合は、ぜひ上述の書籍類を参考までに薦めてほしい。なお、ここに挙げた書籍は教員になりたての新任教員にも参考になると思うので、ぜひ、一読することをお勧めする。

#### 4. 教育実習の1～2週間前にやっておくべきこと

教育実習の1～2週間前になると、実習生との顔合わせ及び教科書等の配布を行うが、その際に必ず、自分の指導方針並びに、今後の授業計画を綿密に指導すると同時に、実習生自身の実習にあたっての抱負を語らせるべきである。これを行うことで、実習生も「教育実習に来た」事を再認識させることができるからである。できることなら、次に来るときまでに、授業の指導案と板書ノートの作成を義務づけておいて、いちばん最初の授業で唐突に授業させてみるといいだろう。もちろん、実習生は驚くし、うまく授業をすることはできないかもしれない。しかし、これをやらせてみると、実習生がどのくらい基本能力があり、実習にあたっての心構えがしてあるかを見るだけでなく、そのいかんによって実習生を指導していくための判断材料にすることができるからである。とにかく、実習生が自分からどれだけ勉強してきているかを指導する側も見極めておかななくてはならないし、これはその一手段になるはずである。

#### 5. 教育実習期間中に指導教諭自身が注意しておくべきこと

実習期間中に実習生に対し指導教諭自身が気をつけておかななくてはならないことは、①実習生を生徒の前では呼び捨てにせずに、「～先生」と敬称をつけること ②実習生を生徒の前で怒ったり、注意しないこと ③授業の手の抜き方などを教えないことの3点である。

まず、①についてだが、特に私立の場合、指導教諭と実習生が師弟関係にある場合が少なからず発生する。そのときに、教員側はつい昔の癖で下の名前やニックネームで呼んでしまいがちである。が、周囲に生徒がいなくて、個人的に話をしている場合

はそれでもいいかもしれないが、周囲に生徒がいる場合(つまり学校内)でそれをやると、生徒たちから「あの教育実習の先生は指導の先生からこういうふうに言われていた」と伝わり、実習に影響することはないかもしれないが、実習生が生徒から好奇の目で見られてしまうこともないとはいえない。そのようなことは、指導する側は決してしてはならないことをぜひ覚えていてほしい。次に、②だが、これは基本的には①と同じなのだが、実習生とはいっても、生徒たちからすれば「先生」に違いない。そのことを踏まえて、決して生徒の前で、実習生を怒ったり、注意をしてはならない。実習生を怒ったり、注意する場合は、必ず生徒のいない別室でしなくてはならない。そして、③—これがいちばん重要—についてだが、指導教諭が往々にして教師用指導書を使うことを推奨したり、実習生に対し、「われわれ教員だって、指導案どおりに行かないこともあるんだから、このぐらいでよいよ」などと言って、実習生が作ってきた指導案を適当に済ませたり、あまり細かく指導しない者もいるが、決してそんなことはしてはならない。そんなことをしてしまったら、仮に、将来その実習生が教員になったとしても、教材研究の方法もわからずに、指導書がなければ何もできなかったり、授業をないがしろにするダメ教師になってしまうかもしれないからである。以上は、指導する側に対する注意事項だが、逆に実習生に対しても指導しておいてもらいたいこともある。

次にそのことについて述べていこう。

#### 6. 教育実習期間中に実習生に注意しておくべきこと

それでは、教育実習期間中に実習生に注意しておくべきことは何かというと、①実習期間中は同窓会気分になってはならない ②わからないことは指導教諭に相談し、無責任な言動をしてはならない ③指導教諭以外の授業も積極的に見学させてもらうこと ④指導教諭以外にも多くの先生がたに授業を見てもらうこと ⑤積極的に生徒たちと交流することの5点である。

まず、①だが、実習先が高校だと卒業後、3,4年ぶりに、中学校だと6,7年ぶりに、そして小学校だと10,11年ぶりに昔の同級生に会うことになる。そうになると、つつい教育実習生の控え室あるいは職員室で話し込んでしまう部分が見受けられるが、それ

は絶対にないように前もって話をしておく必要がある。それをしておかないと、実習生が、実習を適当にやった結果、実習生が大学に戻った後で、もう一度同じ範囲を指導しなくてはならないはめに陥るからである。次に、②だが、通常教員は学年当初から、計画と方針をもって授業を行っており、ちょうど実習生が来るころに授業計画が軌道に乗り始める時期でもある。この時期に、たとえ、実習期間2週間中の1週間は担当させるだけだとしても、不安感はぬぐえない。まして、わからないことがあって、相談してくれるならいざ知らず、全部自分で抱え込んで、あげくの果てに、実習生も生徒たちも満身創痍になっては目も当てられない。そういうことにならないように、常にわからないことや不安なことについては必ず相談し、決して生徒に対し無責任な言動はしないように話しておかなくてはならない。そして、これは③と④のことになるのだが、可能な限り(他教科でもいいから)いろいろな先生がたの授業を見せてもらい、同時にいろいろな先生がたに授業を見てもらうことも必要だということを指導教諭の口から話しておかなければならない。というのも、指導教諭の中には「人のまねをするのではなく授業は自分で創意工夫をしながら実践していくものだ」との考えから実習生に「他の教員の授業を見るくらいなら教材研究をしろ」と言って他の先生がたの授業を見学させようとしないうちもいるからだ。確かに授業は自分で創意工夫をしながら実践していくものではあるが、だからといって、他の教員の授業を見ることは実習生ばかりでなく、われわれ教員にとってもプラスになることはあっても、決してマイナスになることはあり得ない。第一、初めて教壇に立つ人間が初めからじょうずに授業ができるはずがない。仮に、へたな教員の授業を見たとしても、そこから得るものは必ずあるはずである。そのために、指導教諭は、特に実習期間の第1週は、実習生に積極的に他の教員の授業を見に行かせ、そして授業を見せてもらった先生がたには必ず自分の授業を見てもらって、コメントをしてもらい、それをきちんとメモをして次の授業に必ず生かすように実習生に伝えておかなければならない。最後に⑤だが、意外に思うかもしれないが、実はこれが意外と実習生が体験できないことなのである。なぜなら、たいてい授業が終わると放課後は実習生は教案を作成し、それを指導教諭に

見せ、指導を受けるからである。が、もちろんこのことが悪いと言うわけではない。指導教諭も他の雑務を抱えながら、実習生を見るわけだから、放課後のわずかな時間でも惜しいのはわかる。が、やはり実習生にはただ授業をやらせるだけではなく、放課後を使って部活の指導や生徒会の活動などを含め生徒と交流させる時間をもたせなくてはならない。そうしなければ、ほんとうの教師の仕事の喜びも苦しみも何もわからず、ただ実習をしてきただけになってしまう。少なくとも、(学校によって異なるが)6時間目終了から4:30か5:00くらいまでは生徒たちと交流させるようにすべきである。それによって本人自身にも自分が教師に向いているのかいないのかを考えるよいきっかけにもなるはずだ。人によっては「勤務時間外に実習生を指導しろというのか」とけげんそうな顔をする人もいるかもしれないが、わずか2週間ぐらいの話である。楽しんで人間は育てられない。指導教諭をやる側にもそれぐらいの覚悟は必要である。

## 7. 声の大きさ、板書の使い方、(色)チョークの使い方についての指導

大学の教科教育法では絶対に教えてくれないが、授業を成立させるうえで指導教諭として絶対に指導しなくてはならないもの、それが ①声の大きさ ②板書の使い方 ③(色)チョークの使い方 の3点である。というのは、大学の先生の中には中学・高校で教壇に立っていた経験のある人もいるが、残念ながら、大学院修了後直接大学の先生になった人も少なくない。その場合、最近では徐々に変わりつつあるが、声の大きさや、板書のしかた、(色)チョークの使い方を知らない人も少なくない。それに、教科教育法を担当する教員が必ずしも中学・高校の教員経験者でないこともある。では、この3点の具体的にどこに注意すればよいのだろうか。このことは、決して実習生だけではなく、新任教員にも当てはまると思うので、参考までに述べておこう。まず、①の声の大きさだが、大学の講堂の授業であれば—そうでないときもあるが—マイクを使う光景はよく見られるが、通常小・中・高校ではマイクは使わないし、その必要性もない。しかし、中には地声が小さく、口がもごもごして聞き取りにくい人もいる。生徒であれば、教員のほうから近寄って聞

き取る努力もするが、教員希望者や教員である場合には致命傷ともいえなくはない。そのようなときは、のどを痛めるかもしれないが、可能な限り大きな声を(実習生の場合は)出させなければならないし、(教員の場合は)出さなくてはならない。もしも、教科主任や指導教諭が実習予約や、教育実習の1~2週間前の実習生の顔合わせのときにそのことが気になるようであれば、腹式呼吸と発声法を学んでおくことを勧めておくべきである。それで、実習生がやっておかなければ、それは本人の責任であり、のどを痛めて声がかすれてもかまわないから、可能な限り、大きい声を出さなくてはならない。声がかすれても、生徒たちは実習生のことを思って、一生懸命聞いてくれるからだいじょうぶである。次に板書だが、実習生の中には塾や家庭教師の経験をもつ者もいるのだが、きちんとした黒板の有効利用を教わっているものは意外と少ない。そこで、板書の利用方法として、①板書する場合の文字の大きさは大きすぎず小さすぎず、いちばん後ろの生徒が見てちょうどいくらいの文字で書くこと ②黒板の右側に要点を左側に練習問題のスペースを設定し、授業が終わったときにその日の内容が一目でわかるようにすること ③黒板に書き足す場合、消す場合のタイミングをよく見ること をきちんと教えておかなければならない。指導教諭の中には教案作成は熱心に教えるが、板書のことについてはあまり言わない人もいたので、ぜひ指導してほしい。最後に(色)チョークについてだが、実はこれは先に述べた板書作成に密接に関係してくる。特に色チョークは一歩使い方をまちがえたと何が書いてあるかわからないからである。これは、実習生だけでなく、新任教員にも共通することなのでぜひ次の点について注意・指導してほしい。

- (1) 文字は常に白チョークで書くこと。
- (2) 青チョークは黒板の色と同化するので、文字を書くときには使わない。下線や、二重線、波線などのときに使うようにすること。ただし、基本的にはあまり使わないし、その必要性も低いチョークである。
- (3) 赤チョークは英作文のように生徒を黒板の前に出て問題を解かせ、まちがっているところを訂正するときには文字を書いても問題ないが、字体が読みづらくなる場合もないとはいえないので、できるだけ、○、◎、●、△、▼、×、※といった記号を書くために使

- い、文字を書くのはなるべく避けたほうがよい。
- (4) 重要なポイントを板書するときは黄色チョークを使うこと。特に日本語を書くときは黄色チョークがよい。もちろん、青チョークや赤チョークのような使い方をしてもかまわない。使用頻度としては、白チョークの次に使いやすいチョークである。
  - (5) ただし、色チョークは季節や教室配置によっては光って見えなかったり、見にくい場合もあるので、なるべく文字を書かないほうが好ましい。
  - (6) どうしても、その箇所を強調したい場合は、先に述べたように様々な線種として使うか、該当箇所を色チョークで□や○で囲むこと。

なお、板書するときの注意事項として、実は実習生だけでなく教員の中にもいるのだが、決して板書ノートを見ながら板書させてはならないし、教員であれば絶対にしてはならない。第一、板書ノートがなかったら授業できないのでは話にならない。誤解のないように言うておくと、別に私は板書ノートを作ることが悪いとは思っていないし、そう言っているのではない。ただ、板書ノートはあくまでも授業の予習用ノートにすべきだと言っているのである。つまり、授業計画を立てるための予習用ノートとしては板書ノートは必要不可欠ではあるが、それはあくまでも自宅で構成を練るためだけに留めておかななくてはならないと言っているのである。それにノートを持ち込みながら板書するという、否板書しなければならないということは、指導する側がその日の内容を理解していないということの証明である。ノート作成は自分がいかに授業をするか工夫するための手段であって、目的になってはならない。その日に説明する内容は例文は授業が始まる前に常に頭に入れておかななくてはならない。このことは実習生だけでなく、ぜひ教員(特に新任教員)も常日ごろから心がけておかなければならない。

## 8. 実習クラスに問題生徒がいる場合

学校には、様々な家庭環境をもった生徒が来ている。そのために、教員の言った何げない一言で、不登校や引きこもりになりかねないこのごろである。そのような生徒を作らないように、またそのような状況にいる生徒をなんとか立ち直らせようと、常日ごろから教員は頭を抱えているし、努力をしている。

しかし、残念ながら、実習生には当然ながら、そこまで把握できる力もないし、また余裕もない。そこで、指導教諭は授業をさせる場合は、できればそのようなクラスは避けるか、もしくはあらかじめ実習生に注意を促しておかなければならない。できれば、HRを担当するクラスの生徒については家庭調査書等を見せて予備知識を与えておかねばなるまい。そうしないと、実習生が思わぬトラブルを招くことによって、事態がとんでもないことになってしまうかもしれないからだ。最悪学校の責任問題になってしまうこともあるだろう。そのようなことにならないためにも、問題生徒などがいる場合は、決して生徒の家庭環境などのことについて自分から聞きだしたり、深入りしすぎないように注意しておかなくてはならない。また、授業をさせる際も、実習させるクラスの生徒の過去の成績(この時期であれば中間テストの結果)やテスト問題などを提示し、授業計画を立てさせるようにすべきである。それをしないで、ただ授業をやらせても実習生自身もそして実習生の授業を受ける生徒にとっても何のメリットもないからである。指導教諭が実習生を「わかってくれない先生」にしたげてしまうことのないようにしてほしいものである。

## 9. 研究授業前後について

研究授業は教育実習の集大成というべきものである。指導案の作成はもちろんだが、声の大きさ、板書のしかた、(色)チョークの使い方といったまで、詳しくチェックをしておかなくてはならない。通常は、研究授業の前の時間に別のクラスでリハーサルをさせていることと思う。が、できることならば、研究授業が行われる週の放課後は毎日、生徒や他の教員に協力してもらって模擬授業を見てもらい、前日に慌てて指導をし直すことのないようにしておきたいものである。研究授業は実習生の授業を評価するものであると同時に指導教諭も評価されているということを忘れてはならない。また、研究授業には同じ教科の先生はもちろんのこと、この実習でかかわったすべての先生が見に来ることも考えられるが、そうした場合は必ず挨拶に行くこと、そして授業を見に来てくれたすべての先生がたよりコメントをもらい1つ残らずノートに書き留めておいて、将来教員になるための資料としてたいせつに保管しておく

ことも伝えておこう。

## 10. 研究授業に来られる大学の先生がたへ

教育実習の研究授業のときに大学から先生がたが来られる場合があるが、その際をお願いしておきたいことが2点ある。その1つは、研究授業もそうだが、それ以外で「実習生のようなすを見に」来校する場合は、必ず事前に連絡をしてほしいということである。というのも、たまに、教育実習中に体育祭などの学校行事が絡んだり、指導教諭が出張に行っていることもあるからである。そして、もう1つは、実習生は実習期間中は指導教諭の指示に従って実習しているということである。これは、教育学部系の先生に比較的多いのだが、日ごろ大学で教えている教授法と実習生が行っている教授法が相反する場合でも、決して実習生を責めてはいけない。実際、私が教育実習に行ったときに、研究授業ではないときに、担当教授が唐突に何の連絡もなく、私の授業を見に実習校にやって来たことがあった。その教授は授業を見終わった後に、「君、無理して2ページ進まなくてもいいんだよ。1ページ、いや2,3行だっているんだ。やり方がわからないなら、僕が手本を見せてあげるからやらせてごらん」ということがあったのだが、これは絶対にやらないでいただきたい。実習生は慣れないながらも試行錯誤をしながら、必死になって授業を組み立てているのであり、まずはそのがんばりに対して労をねぎらうことのほうを優先していただきたい。というのも、実習生が1時間で2ページ進んだとしたら、それは実習生の独断によるものではなく、指導教諭の指示によるものだからである。第一、「君のやり方は違っているから、こうしなさい」というのは、実習生の面倒を一生懸命見てくれている指導教諭に対し失礼であるし、最悪の場合その大学の実習生を二度と受け入れなくなることもあるからだ。あくまでも、実習生が教育実習をさせてもらえるのは、その学校のボランティア精神によるものだということをご理解願いたい。私の場合も、当然その教授の意向を無視し、指導教諭の指導に従ったのだが、後でその教授から大目玉を食らったが、今でもそのときの判断は正しかったと思っている。それに、教育実習の評価をつけるのは指導教諭であって、担当教授ではないこともぜひご理解願いたい。

## 11. おわりに

いろいろ述べてきたが、われわれ教員の仕事は現在指導している生徒・学生はもちろんだが、後進の指導ということも含まれている。これを参考に、ぜひ、実り多き教育実習になれば幸いである。以上私自身の常日ごろの自戒でもある。

(鳥羽商船高等専門学校講師)

### 原稿募集について

CHART NETWORK は、各方面で英語教育にたずさわる方々の、英語教育に関する実践や研究などの発表を大きな柱として編集されます。そこで、広く原稿を募集いたします。

1. 原稿は未発表のものに限ります。英語および英語教育に関するオリジナルのものであれば、内容は問いません。特に、先生方が弊社発行の教科書、参考書などをご指導上のように効果的にご利用されているかを紹介する内容の原稿などもお待ちしております。

#### 2. 執筆要領

① 1 ページは左右 23 字、天地 43 行の 2 段とし、2～4 ページにおさめてください(句読点は 1 字とする)。英文の場合は 1 ページ 550 words を目安としてください。

② 特に強調したい箇所(太字にしたい箇所)には、赤色で下線を引いてください。

③ 冒頭には必ずタイトルをお付けください。このタイトルは、10 行×2 段とってください。

④ ワードプロで原稿を作成された方は、ご使用の機種を明記のうえ、なるべくフロッピーディスクも原稿と一緒に送り下さい(フロッピーディスクはお返しいたします)。

3. ① 掲載量には限りがございますので、編集部で原稿を選択させていただくことをご了承ください。また、内容の趣旨が変更されない範囲で、原稿の一部を修正させていただく場合があります。

② 掲載させていただきました分につきましては、弊社規定の原稿料をお支払いいたします。

#### 4. 原稿の送り先

☎ 604-0867 京都市中京区烏丸丸太町西入ル 数研出版株式会社 関西本社編集部 CHART NETWORK 係